

## 生活習慣病予防診療部

### A 欧 文

#### A-a

1. Horie I, Kawasaki E, Ando T, Kuwahara H, Abiru N, Usa T, Yamasaki H, Ejima E, Kawakami A: Clinical and genetic characteristics of autoimmune polyglandular syndrome type 3 variant in the Japanese population. *J Clin Endocrinol Metab* 97 (6): E1043-E1050, 2012 (IF:5.967) \*▽◇
2. Murata F, Horie I, Ando T, Isomoto E, Hayashi H, Akazawa S, Ueki I, Nakamura K, Kobayashi M, Kuwahara H, Abiru N, Kawasaki E, Yamasaki H, Kawakami A: A case of glycogenic hepatopathy developed in a patient with new-onset fulminant type 1 diabetes: the role of image modalities in diagnosing hepatic glycogen deposition including gradient-dual-echo MRI. *Endocr J* 59 (8): 669-676, 2012 (IF:2.027) \*
3. Imagawa A, Hanafusa T, Awata T, Ikegami H, Uchigata Y, Osawa H, Kawasaki E, Kawabata Y, Kobayashi T, Shimada A, Shimizu I, Takahashi K, Nagata M, Makino H, Maruyama T: Report of the committee of the Japan diabetes society on the research of fulminant and acute-onset type 1 diabetes mellitus: new diagnostic criteria of fulminant type 1 diabetes mellitus (2012). *Diabetol Int* 3 (4): 179-183, 2012
4. Imagawa A, Hanafusa T, Awata T, Ikegami H, Uchigata Y, Osawa H, Kawasaki E, Kawabata Y, Kobayashi T, Shimada A, Shimizu I, Takahashi K, Nagata M, Makino H, Maruyama T: Report of the committee of the Japan diabetes society on the research of fulminant and acute-onset type 1 diabetes mellitus: new diagnostic criteria of fulminant type 1 diabetes mellitus (2012). *J Diabetes Invest* 3 (6): 536-539, 2012 (IF:1.861) \*

#### A-b

1. Kawasaki E: ZnT8 and type 1 diabetes. *Endocr J* 59 (7): 531-537, 2012 (IF:2.027) \*▽◇
2. Awata T, Yamashita H, Kurihara S, Morita-Ohkubo T, Miyashita Y, Kawasaki E, Ikegami H, Tanaka S, Maruyama T, Shimada A, Takahashi K, Kawabata Y, Kobayashi T: A rare GLIS3 variant associated with resistance to type 1 diabetes. *Diabetologia* 55(suppl 1): S77, 2012

#### A-c

1. Kuriya G, Uchida T, Abiru N, Akazawa S, Kobayashi M, Nakamura K, Kawasaki E, Yamasaki H, Nagayama Y, Kanagawa O, Iwakura Y, Kawakami A: IL-17/IFN-gamma receptor double-knockout significantly suppresses the development of diabetes compared to the IL-17 single-knockout in the NOD mouse. *Immunology and Diabetes Society 2012 Abstracts* p.28, 2012
2. Kawasaki E, Yasui J, Ikeoka T, Murata F, Akazawa S, Kobayashi M, Kuwahara H, Abiru N, Yamasaki H, Kawakami A: Identification of linear and conformational epitopes for ZnT8 autoantibodies in type 1 diabetes. *Immunology and Diabetes Society 2012 Abstracts* p.83, 2012
3. Kobayashi M, Abiru N, Akazawa S, Nakamura K, Kuriya G, Satoh T, Kawasaki E, Kawakami A: Genetic deletion of granzyme B dose not confer resistance to the development of spontaneous diabetes in NOD mice. *FOCiS 2012 Abstracts* p.72, 2012

### B 邦 文

#### B-a

1. 平田 匠, 島田 朗, 今川彰久, 栗田卓也, 池上博司, 内瀉安子, 大澤春彦, 川崎英二, 川畑由美子, 小林哲郎, 清水一紀, 高橋和眞, 永田正男, 牧野英一, 丸山太郎, 花房俊昭: 1型糖尿病調査研究委員会報告(劇症および急性発症1型糖尿病分科会)報告—2型糖尿病経過中に劇症1型糖尿病様の発症様式を呈した症例の臨床的特性—. *糖尿病*55 (7): 505-511, 2012
2. 今川彰久, 花房俊昭, 栗田卓也, 池上博司, 内瀉安子, 大澤春彦, 川崎英二, 川畑由美子, 小林哲郎, 島田 朗, 清水一紀, 高橋和眞, 永田正男, 牧野英一, 丸山太郎: 1型糖尿病調査研究委員会報告—劇症1型糖尿病の新しい診断基準 (2012) . *糖尿病*55 (10): 815-820, 2012

#### B-b

1. 古谷順也, 川崎英二: モリブデン. *Nutrition Care* 5(1): 86-89, 2012
2. 安井佳世, 川崎英二: クロム. *Nutrition Care* 5(2): 197-199, 2012

3. 三浦伊代, 川崎英二: コバルト. Nutrition Care 5(3): 312-314, 2012
4. 柴原真弓, 川崎英二: 食物繊維. Nutrition Care 5(4): 409-411, 2012
5. 川崎英二: 水. Nutrition Care 5(5): 503-505, 2012
6. 川崎英二: 1型糖尿病の発症・進展にかかわる分子メカニズム. 日本臨床70(増刊号3): 332-336, 2012
7. 川崎英二: 膵島細胞質抗体(ICA), GAD抗体, IA-2抗体, ZnT8抗体. 日本臨床70(増刊号3): 446-450, 2012
8. 川崎英二: 1型糖尿病における自己抗体と自己免疫疾患～日本と欧米の共通点と相違点～. Diabetes Frontier 23(3): 279-284, 2012
9. 川崎英二: 「機能性成分」とは?. Nutrition Care 5(7): 685-687, 2012
10. 本郷涼子, 川崎英二: アルギン酸. Nutrition Care 5(8): 822-824, 2012
11. 川崎英二: 糖尿病. Nutrition Care 5(9): 858-862, 2012
12. 安井佳世, 川崎英二: ケフィア. Nutrition Care 5(9): 937-939, 2012
13. 前山美和, 川崎英二: コンドロイチン. Nutrition Care 5(10): 1032-1034, 2012
14. 川崎英二: 1型糖尿病【ホルモン(内分泌)の病気】. からだの科学275: 124-129, 2012
15. 東 るみ, 川崎英二: コラーゲン. Nutrition Care 5(11): 1133-1135, 2012
16. 島津優季絵, 川崎英二: シスタチン. Nutrition Care 5(12): 1244-1246, 2012
17. 川崎英二: メタボリックシンドロームと栄養. 第15回日本病態栄養学会年次学術集会日本病態栄養学会誌15(Suppl): S-29, 2012
18. 三浦伊代, 古谷順也, 安井佳世, 前山美和, 東 るみ, 高島美和, 篠崎彰子, 田浦康明, 稲村幸雄, 大畠雅之, 川崎英二: PEGを有する小児へのミキサー食による栄養補給の試み. 第15回日本病態栄養学会年次学術集会 日本病態栄養学会誌15(Suppl): S-76, 2012
19. 古谷順也, 篠崎彰子, 東 るみ, 高島美和, 川崎英二, 高槻光寿, 曾山明彦, 江口 晋: 生体肝移植患者における術後から退院間の食事摂取量パターンの解析. 第15回日本病態栄養学会年次学術集会日本病態栄養学会誌15(Suppl): S-101, 2012
20. 川崎英二: 1型糖尿病の自己免疫機序. 第85回日本内分泌学会学術総会日本内分泌学会雑誌88(1): 163, 2012
21. 川崎英二, 安井順一, 諸熊治子, 池岡俊幸, 村田美美, 赤澤 諭, 植木郁子, 中村 寛, 古林正和, 桑原宏永, 阿比留教生, 山崎浩則, 川上 純: 1型糖尿病におけるZnT8抗体3次元エピトープの解析. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会 糖尿病55(Suppl.1): S-217, 2012
22. 川畑由美子, 池上博司, 栗田卓也, 川崎英二, 今川彰久, 内潟安子, 大久保 実, 大澤春彦, 梶尾 裕, 鴨井久司, 川口章夫, 佐藤 譲, 島田 朗, 清水一紀, 高橋和真, 田中昌一郎, 永田正男, 中西幸二, 藤井寿美枝, 牧野英一, 丸山太郎, 三浦順之助, 村尾 敏, 安田和基, 小林哲郎, 花房俊昭: 急性発症1型糖尿病の発症年齢とHLAクラスIIハプロタイプとの関連: 日本糖尿病学会1型糖尿病調査研究委員会による多施設共同研究. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会 糖尿病55(Suppl.1): S-185, 2012
23. 鶴丸雅子, 安井順一, 諸熊治子, 池岡俊幸, 村田美美, 赤澤 諭, 植木郁子, 中村 寛, 古林正和, 桑原宏永, 阿比留教生, 山崎浩則, 川崎英二: 1型糖尿病における自己免疫性甲状腺疾患(AITD)合併の有無によるHLA-DRB1-DQB1の検討. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会 糖尿病55(Suppl.1): S-185, 2012
24. 坂中亜衣, 高島美和, 前山美和, 東 るみ, 山本広美, 村田美美, 篠崎彰子, 川崎英二: 妊娠糖尿病(GDM)の新旧診断基準による周産期予後と分娩後の糖尿病発症の検討. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会 糖尿病55(Suppl.1): S-187, 2012
25. 赤澤 諭, 阿比留教生, 古林正和, 中村 寛, 桑原宏永, 内田隆寛, 川崎英二, 山崎浩則, 川上 純: IRF-4欠損NODマウスにおけるT細胞依存性膵島炎および糖尿病の抑制. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会 糖尿病55(Suppl.1): S-217, 2012
26. 内田隆寛, 阿比留教生, 厨 源平, 赤澤 諭, 古林正和, 中村 寛, 桑原宏永, 川崎英二, 山崎浩則, 川上 純, 佐々木 均: IL-17/IFN- $\gamma$ R 遺伝子ダブル欠損NODマウスにおける糖尿病進展抑制. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会 糖尿病55(Suppl.1): S-217, 2012
27. 安井順一, 川崎英二, 中村 剛, 原口 愛, 夏田昌子, 池岡俊幸, 森 美美, 植木郁子, 赤澤 諭, 古林正和, 山崎浩則, 阿比留教生, 川上 純: 妊娠糖尿病を経てインスリン依存状態へ進行した緩徐進行1型糖尿病の1例における耐糖能の推移および膵島関連自己抗体の検討. 第28回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会 糖尿病と妊娠12(2): S-88, 2012

## B-c

1. 川崎英二: 1型糖尿病の予防・寛解治療の現状と未来. (植木浩二郎(編)): 別冊プラクティス プリットル糖尿病の病態と治療・管理のコツ—進化する治療・広がる未来—, 医歯薬出版, 東京, pp.155-163 所収) 2012
2. 村田美美, 川崎英二: 尿中C-ペプチド(CPR)測定の意味について教えてください. (山岸昌一(編)): 循環器医から寄せられる「糖尿病と血管合併症」に関する100の質問, メディカルレビュー社, 東京, pp.38-39 所収) 2012
3. 川崎英二: 糖質の投与と血糖制御はどうするの?. (東口高志(編)): 重症患者と栄養管理Q&A第3版, 総合医学社, 東京, pp.57-61 所収) 2012

4. 川崎英二：1型糖尿病における膵島関連自己抗体の考え方【レクチャー：糖尿病診療と療養指導に必要な知識3】. 糖尿病学の進歩46: 86-91, 2012
5. 廣佐古裕子, 前山美和, 安井佳世, 東 るみ, 高島美和, 篠崎彰子, 赤澤 諭, 川崎英二: 食事療法にて軽快しえた反応性低血糖の一例. 第10回長崎栄養改善学会: 13-14, 2012
6. 川崎英二: 1型糖尿病における膵島関連自己抗体の考え方. 第46回糖尿病学の進歩抄録集: 163, 2012
7. 川崎英二: 1型糖尿病の診断・予知マーカーの最近の進歩. 第50回日本糖尿病学会九州地方会抄録集: 100, 2012
8. 川崎英二: 糖尿病におけるインスリン療法. 第50回日本糖尿病学会九州地方会抄録集: 109, 2012
9. 池岡俊幸, 安井順一, 森 芙美, 植木郁子, 古林正和, 山崎浩則, 川崎英二, 阿比留教生, 川上 純: 多発指尖部壊死を合併した2型糖尿病の1例. 第50回日本糖尿病学会九州地方会抄録集: 143, 2012
10. 山元悠子, 坂中亜衣, 廣佐古裕子, 島津優季絵, 三浦伊代, 本郷涼子, 古谷順也, 東 るみ, 安井佳世, 高島美和, 花田浩和, 山本広美, 池岡俊幸, 安井順一, 森 芙美, 夏田昌子, 植木郁子, 赤澤 諭, 阿比留教生, 川崎英二: 1型糖尿病患者に対する“オーダーメイド”カーボカウント法を用いた栄養指導の効果. 第50回日本糖尿病学会九州地方会抄録集: 154, 2012
11. 進藤春菜, 岡田秀子, 山本広美, 高島美和, 阿比留千春, 井元陽子, 平野郁子, 中村寿代, 明石みか, 三尾直樹, 松山典子, 横田幸子, 増輪文治, 川尻さおり, 松本一成, 瀧野博文, 川崎英二, 長崎県糖尿病療養指導士会, 長崎県糖尿病対策推進会議: 1糖尿病地域連携のためのメディカルスタッフ育成を目指した研修会について. 第50回日本糖尿病学会九州地方会抄録集: 140, 2012
12. 東 るみ, 本郷涼子, 廣佐古裕子, 古谷順也, 坂中亜衣, 三浦伊代, 安井佳世, 前山美和, 高島美和, 花田浩和, 川口サツミ, 松本武浩, 川崎浩二, 川崎英二: 糖尿病を有する患者に対するメディカルサポートセンターでの管理栄養士の取り組み. 第50回日本糖尿病学会九州地方会抄録集: 156, 2012
13. 福島徹也, 磯本恵理子, 加治屋勇二, 泉野清宏, 川崎英二, 上田康雄: 急性膵炎所見のみが先行した劇症1型糖尿病の1例. 第50回日本糖尿病学会九州地方会抄録集: 169, 2012
14. 安井順一, 川崎英二, 中村 剛, 原口 愛, 夏田昌子, 池岡俊幸, 森 芙美, 植木郁子, 赤澤 諭, 古林正和, 本田徹郎, 八坂貴宏, 阿比留教生, 山崎浩則, 川上 純: 発症と同時に複数の膵島関連自己抗体の出現を認めた急性発症1型糖尿病の1例. 第50回日本糖尿病学会九州地方会抄録集: 190, 2012
15. 鶴丸雅子, 安井順一, 中村 剛, 池岡俊幸, 原口 愛, 森 芙美, 夏田昌子, 赤澤 諭, 植木郁子, 古林正和, 阿比留教生, 山崎浩則, 川崎英二: 自己免疫性甲状腺疾患の1型糖尿病合併の有無によるHLA-DRB1-DQB1 の検討. 第50回日本糖尿病学会九州地方会抄録集: 190, 2012
16. 有森春香, 夏田昌子, 古林正和, 中村 剛, 原口 愛, 安井順一, 池岡俊幸, 森 芙美, 赤澤 諭, 植木郁子, 安藤隆雄, 阿比留教生, 山崎浩則, 川崎英二, 川上 純: 内因性インスリン分泌能の長期残存を認めた急性発症の1B型糖尿病患者の1例. 第50回日本糖尿病学会九州地方会抄録集: 191, 2012
17. 諸熊治子, 中村 寛, 池岡俊幸, 安井順一, 植木郁子, 村田芙美, 赤澤 諭, 古林正和, 桑原宏永, 川崎英二, 山崎浩則, 安藤隆雄, 宇佐俊郎, 阿比留教生, 川上 純: 糖尿病性ケトosisを契機に発見された下垂体機能低下症に伴う若年糖尿病の1例. 第50回日本糖尿病学会九州地方会抄録集: 198, 2012

## B-d

1. 川崎英二：血糖コントロールに難渋する症例への対応. 長崎県医師会報793: 35-37, 2012
2. 川崎英二：1型糖尿病の新たな診断マーカーとしてのZnT8抗体に関する研究. 多施設共同研究：劇症1型糖尿病の診断マーカー同定と診断基準確立に関する研究, 平成23年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）総括・分担研究報告書, pp. 31-35, 2012
3. 川崎英二：偶然発見された初期2型糖尿病患者に対する対応. 長崎県医師会報797: 52-54, 2012
4. 川崎英二：血糖コントロールが急速に悪化, さて考えられることは？. 長崎県医師会報801: 55-57, 2012

### 論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2012	4	2	3	0	9	4	2	27	17	4	50	59

### 学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2012	0	0	4	4	3	2	22	27	31

### 論文総数に係る教員生産係数一覧

	$\frac{\text{欧文論文総数}}{\text{論文総数}}$	教員生産係数 (欧文論文)	$\frac{\text{SCI 掲載論文数}}{\text{欧文論文総数}}$	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2012	0.153	9	0.444	4

### Impact factor値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2012	11.882	11.882	2.971